

## 第5学年国語科学習指導案

児童 男子11名 女子 8名 計19名  
指導者 田村 治男

- 1 単元名・教材名 情景を思い浮かべて、人物の関係や心情の変化をとらえよう  
「大造じいさんとがん」(東京書籍 5年)

### 2 単元について

#### (1) 児童について

- ・4月単元「だいじょうぶ だいじょうぶ」では、叙述を基に登場人物の気持ちや思いを想像し、人物の気持ちや思いが聞き手に伝わるように工夫して音読する学習を行った。また、中心人物や対役についての学習も行っている。
- ・5月単元「世界でいちばんやかましい音」では、物語の構成を捉え、場面ごとに起きた出来事を整理しながら、登場人物の気持ちや人物と人物の関係、その場の状況等が変化した部分を捉えながら、山場で起きた変化について考える学習を行った。
- ・登場人物の思いや気持ちは、その言動と情景描写に表れる。児童は、言動から人物の気持ちや思いを読み取ろうとするが、情景描写から読み取ろうという意識はまだ低いと思われる。

#### (2) 教材について

- ・本教材は、大造じいさんと残雪との間に繰り広げられる生存をかけた様々な戦いと、大造じいさんの残雪に対する感動が分かりやすく描かれている。山場となる三の場面に向けて、様々なことを布石し、葛藤場面を設定することでドラマ性を強め、四の場面ですべての完結となっている。最後には、さらなる展開と期待を読み手に余韻として残すという構成上の工夫をしている。このことについても子どもたちは気付きやすい。
- ・1年単位で展開される「起承転結」という四つの場面構成され、それぞれの自負をもちながら戦う様子が生き生きと描かれており、人物の関係や心情の変化が捉えやすい。また、各場面の情景描写は、大造じいさんの心情を容易に想像することができる。

#### (3) 指導にあたって

##### 〈手立て1〉単元全体や単位時間ごとの見通しをもたせる工夫

##### ① 学年の系統性と児童の実態をふまえた単元構想の作成

- ・本単元では、「大造じいさんとがん評論文」を作成するという言語活動を設定する。それぞれの時間の学習内容をもとに、アウトラインやナビゲーションシートを使いながら文章にまとめさせる。その過程で大造じいさんと残雪の関係や心情について、言動や情景描写を再考することになり、本単元の指導事項「登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉え、優れた叙述について自分の考えをまとめること」を身に付けることができると考えた。

##### ② 単元の導入の工夫

- ・教師が自作した「大造じいさんとがん評論文」を提示し、ゴールの姿を明確にする。児童の多くは書くことに抵抗を感じている。そこで、アウトラインやナビゲーションシートを示し、書くことへの抵抗感を減らす。

### ③ 学習計画づくり

- ・第三次で取り組む「大造じいさんとがん評論文」を書くための学習計画を教師の提案を基に立てる。子どもはアウトラインやナビゲーションシートを知らないからである。
- ・単元の導入時の評論文がモデルのため、場面ごとに読み取することを学習計画に付け加える。
- ・教師主導傾向の学習計画づくりになる可能性はあるが、児童と相談をしながら「児童と教師の共同作業」という意識をもたせる。

### ④ 単位時間の見通しをもたせる工夫

- ・第二次での場面ごとに人物の様子や気持ち、人物同士の関係を読み取る学習では、課題解決のための方法を確認し、四つの場面において、同じ解決方法を取らせる。
- ・また、常に課題に立ち返らせながら、課題に正対したまとめを書くことを意識させる。
- ・ペア学習やグループ学習をさせたり、自由に歩いて意見交流を行わせたりする等の活動を通し、様々な考えを取り入れさせながら、課題解決のための見通しを微修正させる。

### ⑤ 次の学習につなげる振り返りの工夫

- ・振り返りの視点を毎時間固定し、常に次時の学習に関わる部分も表記させる。できれば最終的に、振り返りの視点を指示しなくても児童自らが振り返りができるような状態にしたい。
- ・単元を通し、全員のノートコピーを掲示し、振り返りのバリエーションを増やすよう促す。

## 〈手立て2〉学校図書館などの利用目的を明確にし、その機能の活用を図る工夫

### ① 単元の中で読書意欲を高める工夫

- ・2学期開始時から椋鳩十の作品群を展示し、読書を促す。
- ・読後の一言感想カードを用意し、椋鳩十の作品群の隣に書いたカードを展示する。

### ② 発達段階に応じた情報収集や選択、活用方法の指導の工夫

- ・椋鳩十の作品群に関連した動物等の図鑑等を一覧で紹介し、その本のある場所を明示する。
- ・PCを活用し、市立図書館や県立図書館のHPを開かせ、様々な検索体験をさせる。

### ③ 自ら集おうとする魅力ある図書館運営の工夫

- ・椋鳩十シリーズだけでなく、自分が推薦する本について本の帯を制作する時間を設定し、「ボクたちワタシたちがおススメするこの1冊！」のコーナーを新設する。
- ・できれば、時間外で「本の帯コンクール」を開催し、子どもたちが意欲的に読書に取り組むことができるような魅力ある図書館運営を行う。

## 3 単元の目標及び評価規準

(1) 目標 登場人物の相互関係や言動、情景描写を捉え、優れた叙述に気付くとともに人物の関係や心情の変化について自分の考えをまとめることができる。

### (2) 単元の評価規準

【関】人物の心情の変化や場面の情景描写の表現を味わいながら読もうとしている。

【読】人物の心情や、人物同士の相互関係を会話や行動を表す語や文、情景描写に着目して想像しながら読んでいる。C(1)エ

【言】人物の心情の変化等がうかがえる描写について、言葉の美しさを捉えたり、その言葉が適切であるかどうかを感じ取ったりしながら読んでいる。伝国(1)イ(カ)

(3) 単元の系統性

	4 年	5 年	6 年
単元名 教材名	感想を伝え合おう 「ごんぎつね」	情景を思い浮かべて、人物の関係 や心情の変化をとらえよう 「大造じいさんとがん」	感動の中心をとらえよう 「海のいのち」
目 標	物語を読んで、中心となる人物と他の人物との関わりについて考え、感想を伝え合うことができる。	登場人物の相互関係や言動、情景描写を捉え、優れた叙述に気付くとともに人物の関係や心情の変化について自分の考えをまとめることができる。	物語が自分に最も強く語りかけてきたことを短い言葉でまとめることができる。
おさえたい主な学習用語	中心となる人物と他の人物との関わり		中心となる人物
	気持ちの変化	心情の変化	心情の変化
	場面（時、場所、人物）	場面	場面
		情景描写	物語が自分に最も強く語りかけてきたこと
		朗読	山場

4 指導計画（全12時間）

次	時	主な学習活動 ★図書館との関わり	評価規準とその方法
一	1	○評論文集（モデル）を読む。	【関】人物の心情の変化や情景描写に着目して物語を読もうとしている。また目的に応じて学習計画を立てたり、調べたりしようとしている。（発言・ノート・ワークシート）
	2	ナビゲーションシートのことを知る。	
	3	○学習計画を立てる。	
	4	○語句調べをする。 ○場面設定を確認する。 ★椋鳩十の物語に関心をもち、並行読書をすることを知る。	
二	5	○場面ごとに人物の相互関係や心情の変化を読み取る。	【読】登場人物の相互関係や心情、情景描写を捉え、登場人物の心情等について、自分の考えを明確にしながら読んでいる。（発言・ノート） 【言】語感や言葉の使い方、表現方法について意識しながら文章を読んでいる。（発言・ノート）
	6		
	7 本時	本時：第三の場面	
	8		
三	9	○評論文の書き方を知る。	【読】登場人物の相互関係や人物の心情等について言動や心情描写を捉え、自分の考えを明確にもちながら読んでいる。（発言・ワークシート）
	10	○評論文を書き、読み合う。	
	11	★読んだ本の中から1冊を選び、帯を書く（※時間外で行う）。	
	12		

5 学習計画表

三				二				一			
12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
③	②	評論文を書く①	評論文の書き方を知る	← 四	三	二	場面の検討 一	場面設定を確認する。	語句調べをする。	学習計画を立てる。	登場人物などについて知る。
椋鳩十の作品群を読む。											

【計画】

語句や文章を理由に、人物の心情を読み取る力

【身に付けていきたい力】

登場人物の関係や心情の変化を読み取る力  
学習計画表

## 6 本時の指導

### (1) 目標

情景描写や人物の言動に気を付けながら、残雪の勇ましい行動や堂々とした態度に心を大きく動かされる大造じいさんの心情変化を読み取ることができる。

### (2) 評価基準

おおむね満足できる	努力を要する児童への手だて
<p>仲間のために命をかけてハヤブサと戦ったり、傷付きながらも頭領らしい堂々とした態度をとったりする残雪の姿を見て心を大きく動かされる大造じいさんの心情をまとめることができる。</p>	<p>残雪とハヤブサの戦いの部分や第二のおそろしい敵が近づいても堂々とした態度をとる残雪に注目させ、なぜ大造じいさんが強く心を打たれたのかについて考えさせる。</p>

### (3) 展開

時	学習活動	指導上の留意点（・）評価（◎）
<p>導入</p> <p>3分</p>	<p>1 前時を想起する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 掲示物や友達の振り返りを基に、前時までの内容を確認する。</li> </ul> <p>2 課題を把握する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>なぜ、大造じいさんは強く心を打たれたのだろうか。</p> </div> <p>3 見通しをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 解決のための学習の進め方を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一、二の場面における大造じいさんの作戦や心情の変化について想起させる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈手立て1-④〉 これまでの学習を振り返らせ、本時の学習の解決方法についての見通しをもたせる。</p> </div>
<p>展開</p> <p>32分</p>	<p>4 課題を解決する</p> <p>(1) おとりのがんを使い、残雪をねらうまでの大造じいさんの心情を読み取る。</p> <p style="text-align: center;">【全体】</p> <p>(2) なぜ、大造じいさんは強く心を打たれたのかを読み取る。</p> <p style="text-align: center;">【個別→グループ→全体】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時の学習場面は、事前に読ませておく。</li> <li>・ 大造じいさんの心情について、それが想像できる部分（言動や情景描写等）に着目させながらまとめさせる。</li> <li>・ 場合によっては、大造じいさんの心情が表れている部分に線を引かせながら、その心情について書かせたり発言させたりする。</li> <li>・ 話し合いの主体は（2）の方であるため、あまり時間を取らずにまとめさせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈手立て1-④〉 大造じいさんが強く心を打たれた理由を残雪の行動を根拠に説明できるように、グループ等で考えさせる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループは、班ごともしくは自由グループとさせる。</li> </ul>

展 開  32 分	<p>5  まとめをする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大造じいさんが強く心を打たれたわけをまとめる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は、討論の形にならない場合も考えられる。その場合は、同じようなある意見に対して多様な見方があることに気付かせる。</li> <li>◎残雪の行動を理由に、強く心を打たれた大造じいさんの心情を想像し文章にまとめている。 (ノート)</li> <li>・数名の子に指名なし発表をさせる。</li> </ul>
終 末  10 分	<p>6 振り返りをする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三の場面の大造じいさんや残雪の言動について思ったことを書く。</li> </ul> <p>7 次時の確認をする</p>	<p>〈手立て1-⑤〉</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">これまでと同じ視点で振り返りをするを確認し、取り組ませる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りの視点がこれまでと同じことを確認し、まとめる時間を保障し、指名なし発表をさせる。</li> </ul>

(4) 板書計画

◎まとめ

大造じいさんが強く心を打たれたのは、くからである。

山場

← 強く心を打たれて、く

心情の変化

児童の発言

じゅうを下ろしてしまいました。

◎なぜ、大造じいさんは強く心を打たれたのだろうか。

三年目の戦い おとり作戦

二年前から考えていた

「うまくいくぞ。」 青くすんだ空

「さあ、いよいよ、戦とう開始だ。」

東の空が真っ赤にく

わくわく ⇕ しばらく目をつぶって

ぎゅっと

「さあ、今日こそ、あの残雪めに、ひとあわふかせてやるぞ。」

口びるを静かにく